



す 舞 る

special support smile 舞鶴

発行：京都府立舞鶴支援学校 地域支援センター「トータルサポートセンター（TSC）」

◇ 住所：京都府舞鶴市字堀 4 の 1 (〒624-0812) ◇ 電話：0773-78-3133 ◇ FAX：78-3135

～平成 26 年度の年間相談活動のまとめ～

〈トータルサポートセンター〉(3 月末見込み)

(1) 学校種別の相談・支援件数

総	全 体		保育所・園		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他		特別支援学校	
	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規
	285	129	4	8	10	11	91	68	114	28	6	5	51	8	0	0
計	414		12		21		159		142		11		59		0	

(2) 新規相談の主たる相談内容

新規相談件数	学習（内容・支援の手立て等）	コミュニケーション・生活	就学・進路	支援体制（サービスを含む）	研修について	その他
129	54	69	2	0	1	3

・昨年度に比べ総数で 150 件ほど減少しています。行永分校の短期サポートが少なかったことと、幼児の相談が減ったことが考えられます。また、各機関での取組が充実してきたことも要因の一つです。

〈TSC・視覚相談関係〉(3 月末見込み)

(1) 学校種別の相談・支援件数

総	全 体		保育所・園		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他		特別支援学校	
	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規
	74	63	1	4	0	1	56	38	11	8	0	0	1	4	5	8
計	137		5		1		94		19		0		5		13	

(2) 新規相談の主たる相談内容

新規相談件数	学習（内容・支援の手立て等）	コミュニケーション・生活	就学・進路	支援体制（サービスを含む）	研修について	その他
63	49	8	0	0	1	5

・相談場所の移動（行永分校から北吸分校）の関係で実質 7 月からの相談活動のため、相談件数が 80 件ほど減少しています。また、相談年齢別では幼児の相談が減っています。

「病弱教育 研修講座」への

御参加ありがとうございました。

2月27日に実施しました病弱教育研修講座の様子を報告させていただくとともに、講座参加の皆様から感想を寄せていただきましたので併せて御紹介します。

◇行永分校の紹介と取組 「一人一人の病状や教育的ニーズに応じた指導・支援」

学校の紹介や実施している短期サポート事業について報告をさせていただきました。

◇講演「最近の小児医療の進歩」

講師 舞鶴医療センター小児科部長 小松 博史 先生

小松先生に「学校生活をめぐる医療的諸問題～感染症、起立性調節障害、睡眠障害、頭痛に焦点を当てて～」と題して御講演をいただきました。特に今回は「不登校に関係する身体的諸問題」についてもお話を聞かせていただきました。以前から不登校の児童生徒への支援が課題となっていますが、不登校の子どもを理解する上で、たいへん参考になるお話を聞くことができました。



～受講者の感想（一部紹介）～

- ・行永分校の紹介を聞き、他の支援学校とは違った個別性の高い教育をされていることがわかりました。数ヶ月から1年の在籍期間に、今までとできるだけ同じように学習ができるよう、きめ細やかな連携と支援をされておりすばらしいと思いました。
- ・感染症予防には手洗いが一番有効だと改めて実感しました。不登校の話も「学校に行かせるために治す」のではないということにハッとさせられました。学校にいと、どうしても学校に来て欲しいと言ってしまうがちですが、そればかりではなく、その子によりそいながら声かけをする必要性を感じました。
- ・睡眠障害の生徒にどのように接していけばいいのか、学校で困っていました。本人の困り感をどう表面化させるのか、聞き取り、日誌をつけていくことが必要だと思いました。
- ・私の関わる児童生徒にあてはまるような問題について話が聞けて、とても勉強になりました。小松先生のお話の中で「手のつけられるところ、変えて行けそうなところ」を見つけてアプローチする！「本人が困っていきそうなことを表面化させる」ようアプローチをする！というのがすごくポイントだと思いました。

1年間の活動を振り返って

今年度も「子どもに届く相談支援」、「地域の支援力の向上につながる支援」を目標に相談支援を行ってきました。お陰をもちまして年度末を迎えることができました。関係機関の皆様には心から感謝申し上げます。

なお、今年度の活動を総括し、新たな目標を持って、次年度も取り組んで参りたいと思います。引き続き御理解と御協力をお願いしまして、年度末の御挨拶とさせていただきます。

京都府立舞鶴支援学校地域支援センター

トータルサポートセンター長 小 出 敏 一